

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-08 植木剪定材堆肥化事業							
	□支援部門							
主管課	資源循環課		関連課		環境センター			
分野名	生活環境							
目標 (目標値)	市内で発生する植木剪定材を堆肥化することにより、循環型社会の形成を目指す。							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源 状 況	事業の対象者数							
	決算値(千円)	134,968	134,577	139,451				
	(国・県)							
	(負担金等)	71,975	73,793	78,110				
	(一般財源)	62,993	60,784	61,341				
	人員配置数	0.5	0.5	0.5				
	人件費(千円)	4,323	4,470	4,529				
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	139,291	139,047	143,980				
	市民1人当 りの経費(円)	786	785	813				
	対象者1人 当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	逗子	藤沢市	鎌倉市		
	リサイクル率	25.6%	34.7%	25.5%	32.0%	47.7%		
	剪定材	実施なし	実施	実施なし	実施	実施	※剪定材の資源化を行っているか	
	落ち葉	実施なし	実施	実施なし	実施	実施	※葉の資源化を行っているか	
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
一般家庭からの排出量	△	目標値	4,700t	4,750t	5,335t	5,338t	5,391t	
実績値		4,953t	5,120t	5,118t	5,162t			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性					A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
植木剪定材堆肥化事業	134,968千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☐ B	☒ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	市民及び造園業者等から排出された植木剪定材を中間処理施設まで搬送し、堆肥化事業場において堆肥化処理を行い、生成した堆肥の一部を市民及び農家に配布する事業													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	危機管理の観点から他事業者又は複数事業者による資源化の可能性についての検討。		
課題解決のための取組	近隣の植木剪定材資源化事業者44者に対し、当市から発生する植木剪定材の資源化に関する調査を実施。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	現在と同等条件で堆肥化事業を委託できる事業者が、現在の委託業者の1者しかなく、条件見直しの検討が必要。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		効率的な堆肥化事業の推進を行う。	↓ C 課長等名
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			
					担当課長 小澤 圭介

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
植木剪定材堆肥 化事業	主な 個別 事業	1,102 植木剪定材受入事業協力者報奨金	2,084	2,084	○	○	○	○
		1,102 植木剪定材堆肥化事業旅費	37	0	△	△	△	△
		1,102 植木剪定材処理手数料徴収用印刷物	120	0	△	△	△	△
		1,102 植木剪定材受入事業場修繕	1,000	4,352	○	○	○	○
		1,102 植木剪定材堆肥化事業業務委託	147,043	128,407	○	○	○	○
		1,102 植木剪定材受入事業場 土地賃借料	128	125	○	○	○	○
		1,102 堆肥置場修繕材料費	60	0	△	△	△	△
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							